

としよかん つうしん

通巻53号

(平成21年10月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・i-mode から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

読書の秋...

10/27 から 11/9 は **読書週間** です

秋ですね！ 秋といえば「食欲の秋」「芸術の秋」...そして何よりも「読書の秋」です！

さて、みなさんはそんな「読書の秋」にぴったりの、「読書週間」というのはご存知でしょうか？

「読書週間」というのは、読書推進運動協議会が主催している読書の普及を目的とした事業のことで、毎年10月27日から11月9日まで開催されています。この「読書週間」のはじまりは昭和22年、終戦の2年後のことです。まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもと、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」になったものです。日本各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。また、2005年に制定された「文字・活字文化振興法」では、「読書週間」が始まる10月27日を「文字・活字文化の日」と定めています。



2009 読書週間ポスター

このように、戦後間もない時期から60年間、日本では読書を推進する活動が続けられており、今も様々な場でイベントが行なわれています。ぜひ、この「読書週間」をきっかけに、本を手に取り、読書の素晴らしさを再認識していただければと思います。

読書週間マーク：ギリシア神話で学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者である「ふくろう」がシンボル



図書館・これからの催し

10/24

図書館利用者懇談会(小倉台図書館)

皆さまにとってより身近で利用しやすい図書館をつくるため、懇談会を開催します。これからの印西の図書館について一緒にお話ししてみませんか？事前の申し込みは不要です。ぜひお気軽にご参加ください。

日時：10月24日(土)
午前10時半から正午まで
会場：小倉台図書館 集会室
問合せ：小倉台図書館 (47-5511)



11/7

パパのための 読み聞かせ講座 (小倉台図書館)

家庭での読み聞かせは、忙しいお父さんでもお子さんとのスキンシップがとれる素敵な時間です。お子さんとの楽しみの一つに絵本を加えてみませんか？ 童心にかえって、絵本の世界を楽しんでみてください。



日時：11月7日(土)
午前10時から午前11時半まで
会場：小倉台図書館 集会室
対象：未就学児のお子さんをもつお父さん
定員：先着10名
申込方法：10月16日(金)午前9時より電話または下記窓口まで(定員になり次第締め切り)
問合せ：小倉台図書館 (47-5511)

11/14

絵本人形作り (小林図書館)

親子二代にわたり愛され続けている「ぐりとぐら」の人形をフェルトで作ってみませんか。カバンなどにつけて持ち運びできるような大きなので、プレゼントにしても喜ばれますよ。親子での参加も大歓迎です。



日時：11月14日(土)
午後1時から午後3時まで
会場：小林公民館 集会室
対象：成人(小学校高学年以上から参加可)
定員：先着10名
受付、申込方法、参加費については後日ポスターやチラシ、または11月1日付の「広報いんざい」にてお知らせする予定です。
問合せ：小林図書館 (97-0005)

おはなし会においでよ!

図書館では定期的におはなし会を行っています。大きな絵本や紙芝居、季節や行事にぴったりの、楽しいおはなしをご用意してお待ちしております。ぜひお気軽にお越しください!

大森図書館 (おはなし室)	第2・4日曜日 午前11時~
小林図書館 (遊戯室)	第4土曜日 午後3時~
そうふけ図書館 (おはなしのへや)	第1・3土曜日 午後3時~ 第2・4土曜日 午前11時~
小倉台図書館 (おはなし室)	第1・3木曜日 午後3時半~

事情で日程が変更になることもありますので、各図書館にお問い合わせ下さい。

楽しかったね！～行事報告～

7/30

科学あそび(小倉台図書館)

今年の「科学あそび」は、小学生8人のみなさんとスライムづくりをしました。作ったスライムに蛍光ペンのインクで色をつけ、ストローで吹いて風船を作ったり、あとでインクをたらしてピンクからオレンジへ、青から緑へ色を変えたりして遊びました。



おススメの本:『遊んで賢くなるおもしろ実験ブック』 みなさんもぜひ挑戦してみてくださいね！

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

図書館探検隊

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

大森図書館

(8/6 実施)

小学校1年生から5年生までの子が参加してくれました。受付開始後すぐ定員になる人気ぶりで、来年もぜひ継続して行いたいです。カウンター業務や本の修理作業など、みんな熱心に取り組んでくれました。終了後、子どもたちの「楽しかった」という声が印象的でした。



小倉台図書館

(8/20 実施)



8名の小中学生の参加がありました。カウンター業務や返却本の配架作業、そして本の装備や修理にみんな一所懸命取り組んでいました。また、館内見学の時間では、めったに見られない書庫をみて「すごいわ」と興奮気味でした。

そうふけ図書館

(8/28 実施)

今年は午前と午後2回行いました。本にビニールコートを貼る時は、シワができないように真剣に取り組んだので、きれいな仕上がりになりました。カウンターで貸出・返却を行ったときは、利用者の方から声をかけられるなど、緊張しながらも楽しむことができましたと思います。



図書館 人気の本

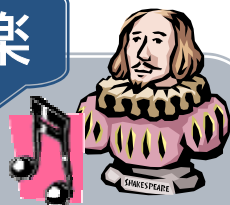
(平成21年9月24日現在)

直木賞受賞作
「鷺(さぎ)と雪」
ランクイン!

1Q84 (BOOK1・2)	村上 春樹 / 著
告白	湊 かなえ / 著
パラドックス 13	東野 圭吾 / 著
英雄の書 (上下)	宮部 みゆき / 著
悼む人	天童 荒太 / 著
ガリレオの苦悩	東野 圭吾 / 著
贖罪	湊 かなえ / 著
聖女の救済	東野 圭吾 / 著
鷺と雪	北村 薫 / 著
イノセント・ゲリラの祝祭	海堂 尊 / 著

上記の本は非常に人気があり、リクエストをしていただいても長期にわたりお待ちいただくこととなります。ご了承下さい。上記のうち、ご自宅に不要になった本がございましたら是非図書館にご寄贈ください!

この本、
おすすめですよ！



— 去年は「食欲の秋」、去年は「スポーツの秋」を特集しましたが、さて、今年の秋は何の秋にしようか...と悩みましたが、やはりここは「芸術の秋」でしょうか？ ということで、今回は「クラシック音楽になった物語」と「その音楽」がテーマ。特にシェイクスピアの作品は題材となることが多く、彼の作品に焦点を当ててご紹介します。

ここで紹介した曲の CD は図書館にあります。紹介文のあとに作曲者名、曲名、そしてカッコ内にバーコード番号を記載してあります。

ロミオとジュリエット シェイクスピア / 著 (筑摩書房ほか)



「おお、ロミオ！ なぜあなたはロミオなの？」 - 憎しみあう家同士の子どもロミオとジュリエットが愛し合ってしまったために起こる、あまりに有名な悲劇です。ロシアの作曲家**プロコフィエフ**は叙情性溢れる美しい**バレエ音楽**を作曲しています。また、同じロシアの作曲家である**チャイコフスキー**は骨太でロマンティックな**幻想序曲**を残しました。他には、**ベルリオーズ**が**劇的交響曲**を作曲しています。また、**バーンスタイン**が作曲した、この物語を現代風にアレンジしたミュージカル「**ウエストサイド物語**」の音楽も有名ですね。

- プロコフィエフ：バレエ音楽「ロメオとジュリエット」(620000381)
- チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」(620097610)
- ベルリオーズ：劇的交響曲「ロメオとジュリエット」(120214203)
- バーンスタイン：「ウエストサイド物語」(120150750)

真夏の夜の夢 シェイクスピア / 著 (筑摩書房ほか)

結婚問題を抱えた貴族たちが、森の妖精王と女王の喧嘩に巻きこまれ一騒動が起きるといった喜劇。**メンデルスゾーン**の作った**劇付随音楽**はファンタジー色溢れるチャーミングな音楽。「パパパパーン、パパパパーン」で始まる結婚行進曲は誰もが耳にしたことがあるのではないのでしょうか？ また、イギリスの作曲家**ブリテン**が作曲した**歌劇**は、あまり知られていませんが、幻想的で、聴いていて森の中に迷い込んだような錯覚に陥られそうになるほど巧みにこの作品を表現しています。

- メンデルスゾーン：劇付随音楽「真夏の夜の夢」(120211382)
- ブリテン：歌劇「真夏の夜の夢」(120116374)



オセロー シェイクスピア / 著 (筑摩書房ほか)



ヴェニスの貴族であるオセローが、旗手イーゴの奸計にかかり、妻デズデモナの貞操を疑い殺してしまうが、のち真相を知ったオセローは自殺してしまうというストーリー。イタリアの**ヴェルディ**が作曲した**歌劇「オテロ」**(オセローのイタリア語読み)は重厚で、その結末を予言するかのよう激しい嵐のシーンから始まります。吹奏楽作品としては、**アルフレッド・リード**が作曲した**付随音楽からの組曲**が有名です。リードはこの他にもシェイクスピア作品を題材とした吹奏楽曲を多く作っています。

- ヴェルディ：歌劇「オテロ」(120215962)
- A.リード：「オセロ」(620097479)

表紙画像は出版社に許諾を得て掲載しております。

図書館についてのお問い合わせは、
もよりの図書館まで！

- 大森図書館・・・42-8686
- 小林図書館・・・97-0005
- そうふけ図書館・・・45-2566
- 小倉台図書館・・・47-5511

編集後記

今号は都合で「やさしい著作権講座」はお休みさせていただきました。読んでいただいている皆さま、大変申し訳ありません。

さて、今回の「この本、おすすめですよ」のコーナーでは、いつもとは趣向を変えて、クラシック音楽の紹介も含めてみました。クラシックを取り上げたマンガやアニメのおかげで、皆さんも色々な名曲を耳にする機会が増えたのではないのでしょうか？ (T・A)